

1月21日「土」

14時30分開演

解説

西村 聡

(金沢大学人間社会研究学域教授)

仕舞

山姥

キリ

島村 明宏

狂言

長光

みつ

炭 哲男

能

金札

さつ

佐野 弘宜

桓武天皇の勅使が大宮造宮の命に従い伏見に赴くところへ、老翁が現れる。王法を尊び、造宮にちなんで木尽しの歌を謡い、その手元には金の札が降る。老翁は伏見の謂れを語り、自らを伊勢大神宮の使者、天津太玉の神であると明かして消える。やがて勅使の前に、天津太玉の神が本体を現し、悪魔を払い、神威を示し、治まる御代を祝福して社殿に消える。

2月4日「土」

14時30分開演

解説

佐々木香織

(石川工業高等専門学校准教授)

仕舞

玉之段

福岡 聡子

狂言

呂蓮

れん

能村 祐丞

能

兼平

ひら

佐野 玄宜

木曾義仲の跡を弔うために木曾の山家から出た旅僧は、琵琶湖畔の矢橋の浦にて通りかかった柴船に便乗する。老船頭はあたりの名所を教えつつ旅僧を栗津に送り届けると、忽然と姿を消す。草枕して弔う僧の前に修羅の巷が出現し、今井兼平の幽霊が甲冑姿で現れ、まずは主君の弔いを頼み、続いて問われるままに自らの壮絶な最期を仕方話に再現し消えて行く。

2月25日「土」

14時30分開演

解説

村戸 弥生

(金沢美術工芸大学非常勤講師)

仕舞

忠度

渡邊 茂人

狂言

鞆猿

さる

能村 祐丞

能

羽衣

ころも

木谷 哲也

駿河の国、春の三保松原。漁夫の白竜が近くの松に掛けてある美しい衣を見つめる。家の宝に持ち帰ろうとする。と、持ち主の天女が現れる。天女はそれは天の羽衣だから元に戻すよう懇願する。天を慕う天女の悲しみを見かねて、白竜は天人の舞臺を奏することを条件に羽衣を返すと、羽衣を着た天女は国土を祝福し、月が照らすなか昇天を果たす。

3月4日「土」

14時30分開演

解説

西村 聡

(金沢大学人間社会研究学域教授)

仕舞

井筒

高橋 憲正

狂言

舟ふな

ふな

能村 祐丞

能

鉄輪

わ

葛野 りさ

夫に見捨てられた女は恨みを晴らすために貴船神社に祈願に参ると、社人が霊夢に現れ神託を告げる。神託に従い、女は生きながらの鬼となる。一方、夢見悪い夫は、陰陽師・安倍晴明に祈禱を頼む。すると、にわか嵐が襲い、恐ろしい鉄輪の赤鬼が現れ、夫の心変わりをひとしきり恨みが、後妻を打ちたたき、夫に迫るが、晴明の祈禱に力弱り、再来を期して姿を消す。

3月11日「土」

14時30分開演

解説

山内 麻衣子

(金沢能楽美術館学芸員)

仕舞

岩船

松田 若子

狂言

鶏聾

むこ

炭 光太郎

能

大会

え

藪 克徳

比叡山の庵室に住む老僧を山伏姿の天狗が訪ねる。昔、命を助けられた報恩に望みを叶えると言うので、老僧は霊鷲山での釈迦の大会(大規模な説法会)を拝みたいと答える。天狗は引き受けるが、決して信心を起こさないよう念を押して消える。目をつむり老僧が待っていると、経巻を持った釈迦が現れるが、大会の様子に老僧は思わず約束を違えて信心を起こしてしまう。天則違反に、帝釈天が天下り、天狗の幻術を解いて懲らしめる。



藪 克徳



炭 光太郎



葛野 りさ



木谷 哲也



佐野 玄宜



能村 祐丞



佐野 弘宜



炭 哲男